

古代アメリカ学会 第24回研究大会・総会

11/30 (土)

10:30 受付開始

— 休憩 10分 (16:20—16:30) —

10:55 開会のことば

【研究発表の部】

【調査速報の部】

11:00 天理参考館所蔵植民地期木製ケロの分析概報
— 蛍光 X 線分析結果を中心に —

荒田 恵 (天理大学付属天理参考館),
青木智史 (天理大学付属天理参考館)

16:30 『シカン』という用語使用に関する諸問題

松本剛 (山形大学)

17:00 インカ表象・太陽神・錬金術

大平秀一 (東海大学)

— 休憩 15分 (17:30—17:45) —

11:20 チャルチュアバ遺跡エル・トラピチェ地区 E3-1
南の石列について

伊藤伸幸 (名古屋大学)

17:45 総会

【ポスターセッション】

古代アンデスの笛吹きボトルのデザインと製作技術の
研究— クピスニケ、ワリ、チャンカイの資料をふまえて —

真世土マウ (岡山県立大学), 鶴見英成 (東京大学),
森下矢須之 (BIZEN 中南米美術館), 山花京子 (東海大学)

ペルー、ワヌコ市の文化財と住民— コトシュ遺跡をめぐって
鶴見英成 (東京大学), 藤井龍彦 (国立民族学博物館)

— 休憩 70分 (12:10—13:20) —

【調査速報の部】

13:20 ペルー北部高地エル・パラシオ遺跡から出土した
動物骨資料について

清家大樹 (聖マリアンナ医科大学), 渡部森哉 (南山大学)

13:40 パコパンパ遺跡周辺の地質のストロンチウム
同位体比調査— ラクダ科動物飼育地域の再検証—

瀧上舞 (山形大学), 鶴澤和宏 (東亜大学),
關雄二 (国立民族学博物館),
ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学),
米田穰 (東京大学)

14:00 ペルー北高地・クントウルワシ遺跡出土
オマキザル資料の再分析

鶴澤和宏 (東亜大学), 瀧上舞 (山形大学),
關雄二 (国立民族学博物館), 井口欣也 (埼玉大学),
米田穰 (東京大学), 大森貴之 (東京大学)

— 休憩 10分 (14:20—14:30) —

14:30 エクアドル、セロ・ナリオ遺跡と
ロマ・デ・ピンシュル遺跡の発掘

山本睦 (山形大学),
ファン・パブロ・バルガス (エクアドル・クエンカ市考古課),
オスカル・アリアス (ペルー国立サン・マルコス大学)

14:50 ペルー、ワヌコ盆地ビチャイコト遺跡
第一次発掘調査速報

金崎由布子 (東京大学), ダニエル・デバス (ワラス大学),
大谷博則 (ポマパンバ郡行政府)

15:10 チュバ遺跡の測量調査

土井正樹 (山形大学)

— 休憩 10分 (15:30—15:40) —

15:40 中央アンデス南部において剃髪は
トランスジェンダーの標識たりうるか?

佐藤吉文 (国立民族学博物館)

16:00 プロジェクト・クロニカ・メヒカーナ (PCM) の
進展と現状

井上幸孝 (専修大学),
クレメンティーナ・バトコック,
(メキシコ・国立人類学歴史学研究所),
ベレニセ・ブラーボ・ルビオ (メキシコ・国立人類学歴史学学校)

12/1 (日)

08:20 受付開始

【調査速報の部】

08:40 テオティワカンの星空～時空間を司る神獣たち～

丹羽悦子 (南山大学)

09:00 メキシコ中央高原における社会変化と環境変動

福原弘識 (埼玉大学), 原口強 (大阪市立大学),
米延仁志 (鳴門教育大学), 鹿島薫 (九州大学),
北場育子 (立命館大学), 大森貴之 (東京大学),
檀原徹 (株式会社京都フィッシュン・トラック)

— 休憩 10分 (09:20—09:30) —

09:30 エクアドルの土器出現前後における生業活動の変化

鹿又喜隆 (東北大学), アンドレイ V. タバレフ
(ロシア科学アカデミー、シベリア支部考古学民族学研究所),
アレクサンダー N. ポポフ (ロシア・極東連邦大学),
ボリス V. ラジン (ロシア・極東連邦大学),
ホルヘ G. マルコス (エクアドル・沿岸工科大学),

09:50 なぜピラミッドは倒壊しないのか:
観念の変容による技術革新の誕生

嘉幡茂 (京都外国語大学),
フリエタ・ロペス (メキシコ国立自治大学),
村上達也 (テュレレン大学),

— 休憩 10分 (10:10—10:20) —

【研究発表の部】

10:20 チャンカイ様式の高台付碗形土器

市木尚利 (立命館大学)

10:50 中期ホライズン期の社会動態—ペルー北部の事例—

渡部森哉 (南山大学)

— 休憩 10分 (11:20—11:30) —

11:30 イニシエーションとしての移住
— 『第二クアウティンチャン絵図』に描かれた
四つの試練

岩崎賢 (南山大学)

12:00 マヤ後古典期ペテン・イツア湖周辺における
派閥を探る

白鳥祐子 (日本学術振興会 特別研究員 PD)

12:30 閉会のことば

※会員でない方も資料印刷費 500 円を実費負担
していただくと研究大会にご参加いただけます。